



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和4年 5月23日

5月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「たて」と「よこ」のつながり

副校長 中里 勝司

入学式の桜の景色に替わって、新緑が眩しい季節となりました。令和4年度のスタートからひと月が過ぎ、生徒たちも新しい学年・学級に慣れてきました。先日のゴールデンウィークではご家庭で一息ついたところだと思いますが、その間も部活動の大会や練習に汗を流す生徒の姿も多くありました。

さて、令和4年度もPTA総会は書面での開催になりました。PTA(=Parent-Teacher Association)の発祥は、100年以上前になります。1895年にアメリカの母親たちが自分たちの子供の教育や教育環境について話し合ったことが始まりだと言われています。その2年後にワシントンに2千人の母親が集まり大会が開かれ、更に11年後の1908年には、これらの母親に迎えられて教員が参加した会がもたれたということです。現在の社会は複雑化しています。経済的な支援、環境の整備を行うだけでなく、PTAが保護者・教職員の交流の場として子供たちの幸せのために多くの知恵を出し合い、コミュニケーションを深めていくことが大切だと思います。本校のPTA活動には、PTA会長さんをはじめ、保護者の方が役員、委員、係として関わり、学校を支援していただいております。心より感謝申し上げます。

話は変わりますが、昔と比べて今の子供たちは「たて」の関係、つまり異年齢の仲間で過ごすことが少なくなったと言われています。昔は年令を問わず皆が一緒になって遊んでいました。楽しかっただけではなく、その中で色々教わることも数多くありました。今は「たて」の交流よりも「よこ」の交流、つまり同年齢の仲間と過ごすことが多くなっているようです。社会環境や生活様式が昔と今では異なりますから仕方ないことだと思います。しかし、「たて」の交流が減少している現在、その機会を意図的に設定することは必要だと思います。学校においても生徒会活動や委員会活動、体育大会等の行事や部活動等で、「たて」の交流を行っています。異年齢の子供たちがお互いに交流し合うことは、先輩から後輩へ対して知識や技術、あるいは時には感動を伝えたりするだけでなく、集団生活のルールや仲間関係の秩序を維持したり、いたわりや尊敬の心を養う等、多くの教育的な意義があります。本校の教育目標の一つに共生(思いやりがあり、心豊かな生徒)があります。そのような生徒を育成するためには、「よこ」だけでなく、「たて」の交流を充実させていくことがとても大切なことだと思います。

【4月・5月のアルバム】

《4月7日（木）入学式》



《4月9日（土）新入生歓迎会》ようこそ、神明中へ！



《4月27日（水）生徒総会》オンラインで行いました。



《1年生フレンドシップスクール》〔5月11日（水）～12日（木）IN筑波〕



【5・6月の主な予定】

- | | |
|---------------|-------------------|
| 5/20（金）心臓検診 | 6/ 4（土）体育大会 |
| 23（月）体育大会練習開始 | 8（水）都学力調査（2）、眼科検診 |
| 24（火）耳鼻科検診 | 9（木）歯科検診 |
| 尿検査二次 | 15（水）都学力調査（1） |
| 25（水）尿検査予備日 | 18（土）土曜授業（3時間） |
| 30（月）全校朝礼 | 修学旅行保護者会（3） |
| | 進路説明会（3） |
| | 21（火）～23（木）期末考査 |
| | 24（金）音楽鑑賞教室（2） |